

1. 基本情報

評価対象年度 (令和3 年度)

施策コード	431	施策名	農業の振興
将来像	4	豊かな自然と調和した住みやすく活気あるまち(「基盤づくり」の分野)	
まちづくりの基本目標	43	産業によってにぎわいや活気を生み出すまち	
主担当部	市民環境部	主担当課	産業振興課

2. 施策の方向

10年後の姿	農のある風景が保全され、活気ある農業が安定的に営まれています。また、多くの市民が農業を身近に感じ、地元で生産された新鮮で安全・安心な農産物が提供されています。		
施策の方向性	1	多目的機能を持つ農地の維持・保全に努めます	
	2	安定した農業経営を支援します	
	3	地産地消を進め、農業とふれあう機会をつくります	

3. 構成事業の状況

(単位:千円)

事務事業名	施策の方向性	担当課	令和3年度決算額
農業振興対策事業	2	産業振興課	55,916
市民農園事業	3	産業振興課	6,162
地下駐輪場運営管理事業	3	道路交通課	11,070
地産地消推進事業	3	教育総務課	1,164
総事業費(施策の合計)			74,312

4. まちづくり指標

指標情報				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和6年度	令和7年度	
①	名称	市内の農業・農家を身近に感じると思う人の割合		目標値	68.6	68.6	68.6	68.8	69.4
	説明	—	単位 %	実績値	66.0	66.0(※)			
	抽出方法	市政世論調査(令和2、5、8年度実施)		達成率	96.2%	96.2%			
②	名称	日頃から市内で生産されたものを購入するようになっている人の割合		目標値	47.8	47.8	47.8	48.6	49.4
	説明	—	単位 %	実績値	42.5	42.5(※)			
	抽出方法	市政世論調査(令和2、5、8年度実施)		達成率	88.9%	88.9%			

※①②抽出方法が世論調査のため、令和2年度の実績を記載している。

5. 評価(令和3年度実績に対する)

評価基準	評価※	評価理由
投入財源・成果(「3. 構成事業の状況」「4. まちづくり指標」)に対する評価	総合評価(成果、投入財源等を総合的に評価) 維持	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「ひまわりフェスティバル」は中止となったが地権者等より寄贈していただいた「ひまわりの種」を活用した「ひまわりの清瀬機運醸成事業」として市内各所にひまわりを咲かせ、ひまわり日記特別編として広く活動を周知するなど、次年度に向けた機運醸成に努めた。 ●市内散策を兼ねて農産物直売所巡りをしていただけるよう市内散策直売所マップを作成し、地産地消の促進に努めた。 ●東京都の補助事業を活用して市内農家のパイプハウス設置等に補助金を交付し、農作物の生産性向上に寄与できた。

※順調「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が順調に推移している
維持「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗に一部課題がある
停滞「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が遅れている

6. 施策を取り巻く環境

令和3年度からの変更点	原材料等が高騰しており、コロナ禍による影響に加えて、経営を圧迫している。
-------------	--------------------------------------

7. 施策を進める上での課題

①	施策を進める上での課題	ひまわりフェスティバルや農業まつりを通じて清瀬市農業をより身近に市民に感じてもらえるように、コロナ禍での事業実施に向けた実施方法の検討や情報発信に対する取り組みが必要となる。
	課題に対する令和5年度以降の取組	新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を講じつつ事業実施に取り組む。
②	施策を進める上での課題	地産地消促進を図るために、市内で生産される農産物のPRの充実や付加価値を上げる取り組みが必要となる。
	課題に対する令和5年度以降の取組	市内産農産物に限らず地場農産物を用いた加工品や飲食店メニューなど、農商工連携や農福連携などの強化を目指す。また、学校給食への地場農産物の導入促進のほか、農地を活用し景観美化への取り組みを行う。
③	施策を進める上での課題	安定した農業経営に向けて、生産性の向上を図る必要がある。
	課題に対する令和5年度以降の取組	東京都の補助事業を積極的に活用し、生産基盤の整備を促進することで生産性の向上に努める。